



秋の山陰大会開催

菅川 幹人(HTV)

中国民放クラブ「秋の山陰大会」は、10月15日(水)鳥取県米子市のANAクラウンプラザホテル米子で懇親会を開催しました。翌16日(木)には、ゴルフ組と観光組に分かれて秋晴れの一日を楽しむ予定でしたが、あいにくの雨模様。高齢者が多いため、ゴルフ会は中止となりました。

懇親会は『高原列車は行く』の

ストレッチで盛り上がり

懇親会は、4人の来賓(日本民放クラブ木村事務局長、地元放送局からNKT山根常務、BSS森下取締役、TSK清田専務)をはじめ、41名の会員が参加し、懇親を深めました。

ゲストは島根県安来市(やすぎし)出身の作曲家・音楽療法セラピストの田部由美子(たなべ・ゆみこ)さん。ピアノの弾き語りです。『テネシーワルツ』『恋のバカンス』など6曲、そしてスカーフを使って参加者全員で『高原列車は行く』を歌いながら軽くストレッチする

など、30分余りの楽しいひと時を過ごしました。高齢者には優しいストレッチでした。大いに食べ、飲み、話し、充実した懇親会でした。来年は山口で開催予定です。

庭園日本一の足立美術館と

精進料理(清水寺)を楽しむ

翌日の観光には24名が参加、山陰支部・北尾理事が案内役を務めてくださり、安来市の足立美術館と清水寺を訪れました。

足立美術館では、「庭園も一幅の絵画である」という創設者・足立全康(ぜんこう)の思いと情熱を伝える5万坪の日本庭園と、それらを守り伝える庭師集団、横山大観など近代日本画壇の代表作や北大路魯山人の作品などを堪能しました。この美術館は何度訪れても飽きることはありません。

その後は、創建1400年の歴史を誇る清水寺を訪問し、境内にある創業150年の食事処「紅葉館」にて「鰻のかば焼きもどき」(木綿豆腐や長芋などを使用)をはじめとする精進料理を味わいました。



足立美術館の前で



米子市内のホテルで懇親会



清水寺・紅葉館の精進料理



5万坪の日本庭園